

# 川上村第1次教育振興基本計画

## I 計画策定の基本的な考え方

- 1 策定の趣旨 教育を取り巻く環境変化や新たな課題が生じる中で、川上村の教育政策の方向性を示すため、第1次計画を策定する。
- 2 計画の性格
  - ・川上村の教育の振興のための施策に関する基本的な計画
  - ・川上村総合計画（5か年計画）に対応する教育分野の計画
- 3 計画の対象範囲 教育委員会が所管する教育に関する施策・事業：公立学校教育、生涯学習、社会教育、社会体育、文化・芸術
- 4 計画の期間 2022年度～2026年度の5か年

## II 本村の教育をめぐる情勢

- 1 時代の潮流と教育の課題
  - (1) 急速な情報化社会の進展
 

⇒「GIGA スクール構想」に基づく、児童生徒の1人1台端末、1人1アカウント、教育用クラウドアプリ環境の整備、統合型校務支援システム導入に伴う情報資産等の管理についての計画が十分でない。
  - (2) 少子化社会に伴う児童数の減少
 

⇒令和4年度現在の出生率は20人未満であり、今後も出生率増加に対する期待については不透明な状況が見られる。
  - (3) 家庭教育の様相の多様化
 

⇒農繁期は、児童・生徒の帰宅時に保護者が不在になりがちであり、帰宅後、SNS やゲーム等に没頭しがちな児童・生徒が多く、帰宅後の児童・生徒の生活について、家庭の指導に格差が見られる。

⇒2世代・3世代で、世帯は同じであっても住居を別にしていることから、世代間の交流が希薄になりがちである。
  - (4) 小学校の統合
 

⇒校舎の老朽化、児童数の減少に伴う統合小学校の建設を推進中。

⇒小中一貫教育に向けた教育内容を検討中。
- 2 川上村の教育のポテンシャル[潜在能力・将来の可能性・発展性]
  - (1) 教育を大切にす風土と村民性
  - (2) 豊かな自然環境と体験活動の機会（ワトソンビル交流・恩納村交流）を提供。
  - (3) 農業を基幹産業として社会経済へ参画している。反面、多様な職種に目を向ける機会が少ないことは課題である。

## III 川上村の教育のこれまでの取組

- 1 第1次教育振興基本計画の検証
- 2 今後の取組の方向性の検討

## IV これからの川上村の教育のあり方

基本理念 「郷土と共に自己を磨き、未来に向けて夢をかなえる人づくり」		
基本目標1 生きる力と創造性を育む川上村ならではの「学び」を実践します。	基本目標2 すべての子どもが、多様な学びの機会を享受できるようにします。	基本目標3 地域活動、スポーツや文化・芸術などの多様な活動を通して、生涯学習を推進します。

## V 基本計画（今後5年間の施策）

重点政策	基本施策	施策の具体的方向
1 <b>川上村に根ざし社会で活躍する人材の育成</b> ・幼児教育の充実 ・小中一貫教育の推進 ・へき地教育の工夫・改善の推進 ・地域と共に学びを深める取組の推進	未来に向けて夢を実現するための学力の育成	①保小中連携の充実
2 <b>すべての子どもが、多様な学びの機会を享受</b> ・教育課程の工夫・改善、教職員の教科指導力・生徒指導力の向上 ・子どもに力を付ける教育活動の企画の推進 ・ICT環境を生かした個別最適化な学びの場の保障 ・特別支援教育の充実		②へき地教育の推進-個に応じた指導の充実
3 <b>「支え合い、共に学ぶ」学びの環境づくり</b> ・統合小学校の建設 ・友だち関係づくりの充実 ・人権教育の推進 ・不登校児童生徒の未然防止	すべての子どもの学びを保障する支援	③統合小学校の建設
4 <b>生涯学習の推進</b> ・キャリア教育の充実 ・図書館の充実及び利用者増加の整備と学習機会の提供 ・自主事業企画の充実 ・青少年健全育成運動の推進		④信州型CSの充実
5 <b>心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興</b> ・公民館との連携による文化・芸術活動のきっかけ作りや発表の場の設置、及び文化センターを中心とした多様な活動の支援 ・スポーツ活動の多世代への普及を推進	生涯学習の振興	⑤「川上三校職員共通目標」の提示 A.教科指導力の向上 B.生徒指導力の向上 C.子どもに力をつける教育活動企画力の向上
		⑥継続的（読書活動・習熟学習等）・特設的な教育活動（パワーアップ day 等）の推進
	支え合い、共に学ぶ学びの環境づくり	⑦体力向上事業
		⑧特別支援教育の充実
	生涯学習の振興	⑨ICT活用推進委員会
		⑩教職員の研修
	心豊かな暮らしを実現する文化とスポーツの振興	⑪友だち関係づくりの推進
		⑫いじめ防止基本方針
		⑬不登校防止のための行動指針
		⑭キャリア教育推進事業
		⑮子どものための生涯学習
		⑯公民館教室（生涯学習教室）
		⑰自主事業企画及び活動支援
		⑱各種スポーツ大会
		⑲文化財の保護

## VI 計画の実現に向けた基本姿勢

- 1 現場の主体性を尊重した学校との十分な連携・協力
- 2 関係各課との連携による事業評価の実施
- 3 PDCAサイクルによる事業の不断の見直しと年度内での軌道修正